

平成29年4月3日

政務活動費成果届出書

届出者 鈴木 幸彦 (全議員を代表して提出)

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研 修・**広 報**・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市議会 第21回議会報告会 「市民と議会のつどい」

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

議会活動を市民の皆様へ報告する、また市民との意見交換をすることにより、議会への関心を深めていただき、開かれた議会を目指す。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

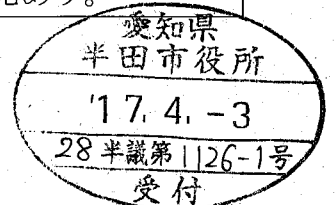
新年度の予算審査を行う3月定例会の内容、政務活動費を使つての活動報告等、限られた時間ではあったが参加された市民へ報告できた。また市民からの意見も直接聞くことができ、やり取りの中で議会の考えもお伝えすることができたことは、目的達成といえる。課題としては、多くの方に参加いただけなかったこと。今回、周知不足にならないようにと、チラシも増量し個々のお誘いはもちろん、公共施設にも設置。また市役所来庁者の目にとまるよう大判予告ポスターもコピーで作製。お金がかからないよう周知に最善の努力はした。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・市役所内での開催の検討。(議場を使うことで興味をもってもらえないか)
- ・開催する時間帯や曜日の変更で、参加者の層が変えられるのではないか。
- ・今回、初めて行った政務活動報告、今回のアンケート結果を参考にして、今後も堂々と報告していく必要がある。来年度の広報広聴委員会に申し送ること。
- ・議会報告会を継続して開催することで、市民の皆様には行政や議会に関心をもっていたきたいという思いは変わらない。毎回の課題ではあるが「参加してみたい議会報告会」を創り上げなければ“報告する”という目的達成とはならない。
- ・今年、市制80周年で議場を使いイベントを行う。今後の報告会は、開庁時間外の庁舎施設を提供いただき、市役所に親しみを持っていただくことを目的に加え、あらゆる年代層にも参加していただき、一緒に市政を考える場とするなどモデルチェンジが必要か。
- ・市民からの質問に対しての回答も含め、報告する議員のレベルアップも必要。わかりやすく解説しているつもりだが、アンケートには必ず分かりにくいという意見あり。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額(円)	領収書 No.
3/31	19:00~ 20:30	議会報告会 会場使用料 (空調費、備品借用料含む) アイプラザ半田 研修室	5,240円	
		22人で按分 238円/人		
		但し端数調整のため委員長 負担 242円とする		
		合計	5,240円	

平成29年4月3日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木幸彦
(全議員を代表して提出)

タイトル

半田市議会 第21回議会報告会 「市民と議会のつどい」

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

議員22名で按分 5,240円 / 22名 = 238円 (鈴木幸彦のみ242円)

領 収 書

No.

納入義務者氏名	半田市議会 様				
金額	千	円			
	5	240			
納付目的、 アイプラザ半田使用料(消費税を含む) 3/1 研修室 上記の金額を領収しました。 納入期限：平成 29 年 3 月 24 日					
